

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ②ライフ分野(9/10)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
柏の葉キャンパス 「公民学連携による自律した都市経営」特区 (千葉県柏市)	3.5	4.0 進捗度 ・各主体の参画による活動の活性化 104% ・新ビジネス創造と地域経済の活性化 102% ・AEMSを活用した環境配慮型都市の確立 178% ・先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築 66% ・虚弱予防活動の展開 72%	3.3 規制の特例等 ・訪問リハビリテーション事業所整備推進事業 ・歯科衛生士等居宅療養管理指導推進事業等 地域独自の取組 ・事業推進に向けたプロジェクト連携会議の開催等	3.4	・口腔ケア年間実施件数が増加していることは評価できる。 ・まちづくり、環境保護、新ビジネス創造、包括的健康サービス提供と住民のニーズに合うプロジェクトが複数行われそれぞれ一定の成果が生まれていることは評価できるが、プロジェクト同士の連携が行われているかどうかは外からはみえない。 ・エリアマネジメントの取組みを先導する役割を果たしているとともに、公民学の連携やまちづくりと介護との融合といった総合性の着実な実施として評価できるが、データプラットフォームの活用(データ駆動型)のイメージがややわかりにくい面がある。 ・歯科衛生士の確保を問題点として掲げているが、対応策などについても検討いただきたい。 ・コロナ禍の中で活動の展開が難しかったことが窺われる。「トータルヘルスケアステーション」の詳細や意義がわかりにくく、今後詳細を明らかにしたうえで具体的な評価指標を作成する方が良いように思われる。 ・ベンチャー企業の支援件数は高い進捗が得られているが、可能な範囲でその支援内容・結果についての情報共有があれば有用である。(件数のみでは評価が困難な場合がある) ・フレイル予防については、具体的な内容の明示が必要。 ・ライフイノベーション分野の評価指標(4)、(5)の事業については、各数値目標で目標値を下回って進捗しており、また前年度に比べても減少している。定性的評価でも着実な進捗がうかがえない。新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったことは否めないが、課題改善に向けた取組が必要である。 ・「地域の健康・介護」分野の目標達成に向けた実施スケジュール(評価書3④、p.9)は、今年度の実績を踏まえ修正する必要がある。